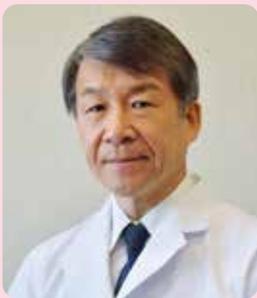


きんもくせい

院内報
vol.47
平成29年
4月号



就任のごあいさつ



企業長 兼 院長
宮地 正彦
(みやち まさひこ)

このたび4月1日付けで、掛川市・袋井市病院企業団の企業長を拝命いたしました。

私は昭和55年に名古屋大学医学部を卒業し、同大などで消化器外科を中心とした診療・研究及び教育に従事し、愛知医科大学医学部特任教授(外科学講座)の職務を経て、当院に赴任させていただくことになりました。

当院は平成25年5月の開院以来、前任の名倉先生を中心に、急性期の高度医療を提供する病院としての実績を着実に積み上げており、責務の重大さに身が引き締まる思いがいたします。

今後もさらなる医療の質の向上と、皆さまに愛され信頼される病院を目指し、両市・両市民をはじめ、近隣病院及び開業医の先生方との連携を緊密にし、地域医療に貢献してまいりますので、ご指導とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

平成29年4月

院内報「きんもくせい」は、中東遠総合医療センター、掛川・袋井両市役所及び一部の市内公共施設にて無料で配布しております。

ホームページ <http://www.chutoen-hp.shizuoka.jp/>

過去の院内報をホームページでご覧いただけます。



〒436-8555
掛川市菖蒲ヶ池1番地の1

TEL 0537-21-5555



スマートフォン・タブレットからアクセスする際にはQRコードをご利用ください

平成29年度及び
平成30年4月採用

職員募集中!



募集職種

- ① 薬剤師
- ② 臨床検査技師
- ③ 臨床工学技士
- ④ 助産師・看護師
- ⑤ 事務職員(経験者採用)
- ⑥ 事務職員(一般)

申込締切日

- ① …… 平成29年5月12日(金)
- ②～⑥ … 平成29年6月9日(金)

試験日

- ① …… 平成29年5月28日(日)
- ②～⑥ … 平成29年6月25日(日)

◎受験資格、申込方法、試験種目など詳細は、
管理課または当院ホームページでご確認ください。
(<http://www.chutoen-hp.shizuoka.jp/recruit/index.html>)
【問合せ先】管理課職員係
☎0537-21-5555(代) FAX 0537-28-8971



病衣・ベビー着・寝具が新しくなります

開院から5年目を迎え、今月から病衣・ベビー着・寝具がリニューアルします。

患者さまからのご意見等を参考に、入院生活が少しでも快適になるよう検討を重ね、下記のとおり変更しました。

【病衣】…シワになりにくい生地を採用しました。

【ベビー長肌着】…刺繍入り、着まわしのきく2WAY(ボタンの留め方によって長肌着と裾が二股分かれる)タイプになりました。

【掛布団】…夏・冬で2種類ありましたが、オールシーズン使用できるものになりました。



病衣(ガウン)



病衣(パジャマ)



ベビー長肌着

病院企業団議会が開催されました



2月16日、掛川市・袋井市病院企業団議会の全員協議会並びに定例会が開催されました。

全員協議会では診療実績、事業会計など平成28年度の運営状況や、新公立病院改革プランの概要などの報告及び協議を行いました。

また、定例会では平成28年度補正予算、平成29年度当初予算など6議案が原案通り可決されました。平成29年度の病院事業収益は165億8,500万円、1日当たりの患者数は入院439人、外来1,250人を見込みました。一方、病院事業費用は167億700万円を計上しました。

看護部通信

看護研究「退院支援」に取り組んで

看護部では看護の質の向上を目指して、毎年「看護研究」に取り組んでいます。8階西病棟では「退院支援の現状と課題～同じ視点で退院支援をしていくために～」というテーマで取り組みました。退院支援とは、患者さまが退院後も安心した療養生活が送れるように支援することです。

研究では、看護師が患者さまの退院後の生活を考えるとき「患者さまにとって何が重要か」「どのように支援するか」についてアンケート調査やインタビューを行い退院支援の現状と課題を明確にしました。病気と共に生きる患者さまが退院後も理想とする生活を送るために、どの看護師も同じ視点で退院支援が出来れば、より良い看護につながります。

今後は研究結果を活かし、患者さまがより安心できる退院支援を目指してまいります。



研究発表した8西病棟看護師(中央が石川看護師)

文責 8階西病棟 石川友美



リウマチ外来を担当する 小早川医師 と 丸山医師(右)

整形外科診療部長兼

リウマチ科診療部長 丸山 正吾

【診療方針】

近年、関節リウマチの薬物療法はメトトレキサート(MTX)に加えて生物学的製剤の登場により、目覚ましい進歩を遂げています。多くの患者さまで寛解(症状が無い状態)の達成が可能になりました。しかし、徹底した薬物療法を行ってもコントロールが不十分な患者さまや、併存症(他の病気の合併)により十分な薬物療法が行えない患者さまでは、関節破壊が進行し機能障害を来してしまうことが少なからずあります。そのため現代のリウマチ治療においても、手術療法が必要な場合があります。

当科の特徴は旧市立病院時代から、診断から薬物・手術療法に至るまで一貫したリウマチ治療を行っていることであり、多くの患者さまを長期にわたり継続的に診察していることです。

【薬物療法】

残念ながら生物学的製剤は値段が高く、患者さまの経済的事情により使用できない場合がありますが、そういった場合でも比較的安価な抗リウマチ薬を組み合わせることで可能な限り寛解を目指し、患者さま一人ひとりにあった薬物治療を行っています。

関節リウマチは、滑膜の炎症が腫れや痛みをもたらす、より鋭敏に調べる方法として超音波検査を用います。一般的な血液検査では検出困難な滑膜炎を超音波検査で検出することにより、早期診断や適切な治療に役立っています。

【大関節に対する人工関節置換術】

人工膝関節置換術及び人工股関節置換術の成績は安定しており、高度な変形を来した患者さまも手術を行うことにより歩行能力の改善が期待できます。

その他人工肘関節置換術、足関節固定術は膝・股関節に比べると手術件数は少ないものの、手術適応を慎重に判断し行っています。

2月の診療実績

◆統計データ

	2月
紹介率	74.4%
逆紹介率	98.0%
病床利用率	94.6%
平均在院日数	10.3日
手術件数	397件
救命救急センター受診数	1,591人
救急搬送件数	451件

◆入院・外来患者数の推移



■受付時間:午前7時45分~11時00分
■診療時間:午前8時30分~
■緊急手術や学会等への出席のため、急に休診となる場合や担当医師が変更となる場合があります。

2017年3月16日情報

Table with columns for Area (エリア), Clinic (診療科), Room (診察室), and days of the week (月, 火, 水, 木, 金). It lists various medical departments like Orthopedics, Internal Medicine, Pediatrics, etc., and their respective staff members.

※(初):初診、(再):再診、(予):予約、(紹):紹介 ※午後は予約のみ
□入院患者さんへの面会時間 平日:午後1時~午後8時 土、日、祝日:午前11時~午後8時

院内報「きんもくせい」は、中東遠総合医療センター、掛川・袋井両市役所及び一部の市内公共施設にて無料で配布しております。